

報道関係者各位

## ご案内

妊活中の人やそれを応援するサポーターなど、約 450 名が東京・品川に集合！

## 『Fine 祭り 2013 ちゃんと知りたい！ 男女の不妊』

最新治療情報の講演とトークセッション、展示・相談コーナーなどを展開、好評のうちに終了！

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network = ファイン) <http://j-fine.jp/>

不妊症患者をはじめ不妊で悩む人をサポートする、体験者によるセルフサポートグループ、「NPO 法人 Fine (ファイン)」は、去る 2013 年 11 月 3 日(日・祝) 東京・品川の THE GRAND HALL にて、不妊に関するイベント『Fine 祭り 2013 ちゃんと知りたい！ 男女の不妊 ~ここがポイント！ 精子&卵子と最新治療情報~』を開催しました。

6 年目を迎えた『Fine 祭り』[http://j-fine.jp/activity/event/fine\\_matsuri.html](http://j-fine.jp/activity/event/fine_matsuri.html)

2008 年より毎年さまざまな形で開催している『Fine 祭り』。不妊当事者とそれをサポートする人々が集うことにより、互いをもっと身近に感じ、理解を深めるきっかけを作り、さらに当事者が「多くの仲間やサポーターがいる」ことを体感して元気や勇気を得られることを大きな目的としています。当日は、相談コーナーの予約希望者や当日券を求める人が開場の 1 時間前から並び、開場後、ホールはほぼ満席、展示・相談コーナーにも多くの方が足を運び、活気あるイベントとなりました。今年は「男性不妊」をテーマのひとつに掲げたこともあり、例年以上にカップルでの参加が目立ち、「不妊治療は男女一緒に」という認識が広がりつつあることがうかがえました。また、これまでの実績が評価され、本年の「Fine 祭り」も厚生労働省から後援名義使用許可をいただくことができました。

## 「男性不妊」「卵子」について、生殖医療専門医が講演

【講演 1】不妊の原因の約半分は男性にあると言われていながら、男性不妊専門医は全国に 45 名しかいません。そのうちのお一人、石川智基医師(リプロダクションクリニック大阪 CEO)は、時間との闘いでもある不妊治療において、夫婦が同時に受診することの意味、長い禁欲期間は精子の DNA 損傷を増やすこと、精子への温度や酸化ストレスを防ぐためにできることなどを講演。さらに、非閉塞性無精子症の最先端治療である micro-TESE について動画をまじえて紹介がありました。

【講演 2】近年話題の「卵子の老化」。浅田義正医師(浅田レディースクリニック 理事長)は、卵巣予備能力を調べる AMH 検査や卵子と年齢について、また生殖や治療に関する疑問についてわかりやすく紹介。「自分ができることとできないことを知り、悩み過ぎないこと」の言葉に新しい視点を得た人もいたのではないのでしょうか。最前線で活躍する医師の講演を聴ける貴重な機会ということで、真剣に耳を傾け、熱心にメモをとる参加者の姿も見られ、講演後の質疑応答では、客席から多くの挙手があり、治療への意識の高さが垣間見えました。

## ヒキタクニオさん(作家)・白河桃子さん(ジャーナリスト)らによる「トークセッション」

『「ヒキタさん！ご懐妊ですよ」男 45 歳・不妊治療はじめました』(光文社)の著者、ヒキタクニオさんは、男性からみた不妊治療中の気持ちを赤裸々に語り、その本音トークに会場の参加者は笑ったり、うなずいたり共感と呼んでいました。『妊活バイブル』(講談社+ 新書)の著者、白河桃子さんからは、未婚男女の恋愛に対する姿勢や妊娠についての考え、なぜ晩婚・晩産化するのかなど、不妊を別の角度から捉えた話題もありました。

## 不妊スペシャリストによる「相談コーナー」&amp;妊活グッズなどの展示、販売

不妊症看護認定看護師とエンブリオロジスト(胚培養士)による「無料相談コーナー」では、早々に全ての予約枠が埋まり、相談できる場が求められていることや、参加者の治療に対する積極的な姿勢がうかがえました。またホワイエでは、協賛企業等による展示・販売をはじめ、座長のお一人、岩本晃明医師(国際医療福祉大学病院リプロダクションセンター 教授)による個別相談、ヒキタさん、白河さんの著書販売とサイン会など、盛りだくさんの内容に。商品への質問や、資料を求めるなど、企業等との交流の場にもなり、終日来場者で賑わいました。

## 来場者の声

「不妊治療真ただ中、誰にも相談できずトンネルの中にいるような毎日で、今回参加できたことが救いになった」「もっと積極的にいろいろ勉強をしてみたいと思った」「がんばりすぎないのも大事なのかなと思った」など、参加者から多くの感想をいただきました。これからも Fine は、さまざまな活動を通して、不妊当事者とそれを応援する人々の橋渡しなどの活動を続けてまいります。

『Fine 祭り 2013 ちゃんと知りたい! 男女の不妊』開催概要 <http://j-fine.jp/matsuri/2013/matsuri.html>

日時: 2013 年 11 月 3 日 (日・祝) 10:00~16:00

会場: THE GRAND HALL (東京・品川)

参加者: 約 450 名

ホール:

- ・講演「男性不妊の新常識 ~最前線の現場から~」石川智基先生 (リプロダクションクリニック大阪 CEO)
- ・講演「本質から考えたい不妊治療 ~正しい知識と理解から、正しい不安と安心を~」  
浅田義正先生 (浅田レディースクリニック 理事長)
- ・トークセッション「子どもを持つ、育てるといふこと~“不妊”や“妊活”の視点から~」  
ヒキタクニオ氏 (作家)、白河桃子氏 (ジャーナリスト・ライター)  
池上文尋氏 (不妊治療ジャーナリスト)、松本亜樹子 (NPO 法人 Fine 理事長)

展示コーナー: 不妊当事者を応援する企業等が参加、商品やグッズの展示・販売など。

不妊スペシャリスト相談コーナー: 不妊症看護認定看護師、エンブリオロジストによる無料相談。

**NPO 法人 Fine これまでの活動 (抜粋)**

**日本初! eラーニングによる「不妊ピア・カウンセラー養成講座」受講生募集中!**

日本で初めて、不妊に特化した不妊ピア・カウンセラーを養成。2005 年より九期連続で開講。

2012 年より「eラーニング」形式に変更し、全国どこでも受講が可能に。

参考: <http://j-fine.jp/e-pia/index.html>

**『Fine 祭り』を 2012 年まで 5 年度連続で開催**

来場者数は、2008 年度 約 500 名、2009 年度 約 550 名、2010 年度 約 150 名、2011 年度 約 600 名、2012 年度 約 400 名。大きなホールでの講演会や全国各地でのおしゃべり会など、毎年、趣向を変えて開催。

参考: [http://j-fine.jp/activity/event/fine\\_matsuri.html](http://j-fine.jp/activity/event/fine_matsuri.html)

**日本初! 不妊当事者団体として国会請願を実施!**

不妊患者の経済的負担の軽減を求めて 2007 年に第 1 回目の国会請願を実施。

2011 年 5 月の第 4 回目の国会請願では、約 20,500 名の署名が集まり、初めて衆議院で採択、内閣に送付されました。2013 年 5 月、第 6 回目の国会請願を行ないました。

参考: <http://j-fine.jp/shomei/shomei.html>

**不妊に関するさまざまな調査を実施**

2010 年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート」を実施 (回答者数 / 1,111 名)

2012 年「どうする? 教えて! 病院選びのポイントアンケート」実施 (回答者数 / 560 名)

2012 年~2013 年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート Part2」を実施 (回答者数 / 1,993 名)

結果は Fine ウェブサイト、学会や講演会等で発表。他にもさまざまなアンケートを実施しています。

参考: <http://j-fine.jp/activity/enquate/index.html>

**学会・研究会・検討会への参加・発表**

2009 年 ESHRE (欧州生殖医学会) 患者部門にてゲストスピーカーとして発表 (オランダ)

2012 年「第 11 回 iCSI (国際不妊患者団体連合) 会議」を共催 (京都)

2012 年「第 4 回 ASPIRE (アジア太平洋生殖医学会) 会議」にて iCSI セッションを共催 (大阪)

2013 年 厚生労働省「不妊に悩む方への特定治療支援事業等のあり方に関する検討会」委員 など

**その他**

JISART 施設の認定審査に患者代表審査委員として参加 (2005 年~現在)

~ Fine 会員は約 1,550 名、さらに SNS も開設! 登録者約 1,400 名 (2013 年 12 月現在) ~

**NPO 法人 Fine (ファイン)** <http://j-fine.jp/>

〒135-0042 東京都江東区木場 6-11-5-201 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606

\* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです

~ 当りリリースについてのお問い合わせ ~

E-mail NPO 法人 Fine 広報窓口: [finekouhou@j-fine.jp](mailto:finekouhou@j-fine.jp)